

私の教育実践 ～謙虚に、そして積極的に～

愛媛県立松山東高等学校 校長 沖田浩史

私は、1988（昭和63）年4月に、本県の高等学校教諭として採用されました。翌年には年号が平成に変わったので、昭和最後の採用ということになります。以来、西条高校3年、今治南高校5年、松山西高校4年、そしてまた振り出しに戻って西条高校に5年、勤務しました。その後、行政の教育機関に勤務することになり、教諭としてお世話になったのは、各校とも短い期間だったのだな、と思います。



その教諭時代のうち、1年間は、今治国際ホテルで働きました。2回目の西条高校勤務のとき、2001（平成13）年のことです。長期社会人体験研修という制度が始まって2年目の年で、当時、私は35歳でした。

それまで10年以上かけて培ってきた、教科指導や進路指導、ホームルーム活動や部活動などの指導のスキルが使えず（当時はそう思っていました）、7月頃まではとてもつらくて、時が過ぎるのを遅く感じていましたが、勤務に慣れてきた1～3月頃は、時間があっという間に過ぎたように思います。そして、お世話になった方たちとお別れをして、学校に戻ってきました。

1年間のホテル勤務の中で、自分がかつて担任をしていた生徒たちと、ホテルのお客様として再会できたのも、よい思い出です。一人は、高校時代になりたいと言っていた福祉の仕事に就いていて、本当に頼もしく思いましたし、もう一人は、本人の結婚式に立ち会うことができ、本当に感激しました。

そんな経験をさせていただいたのですが、ホテル勤務を通して、私が、なによりよかったと思うのは、ホテルマンとしての技術や心構えを、人から教えられる立場になって、改めて、人と接するとき、人にもものを教えるときにふさわしい言葉遣いや態度について気付くことができたということです。

その気付きは、その後の生徒指導や進路指導、保護者対応の際に、役に立つことになりました。今、振り返ってみると、本当にかけがえのない経験をさせていただいたと思っています。

ホテル勤務では、社会人として大切なことにも気付かされました。それは、①挨拶の大切さ、②約束や期限を守ることの大切さ、③苦手なことにも誠実に取り組むことの大切さです。この三つのことは、どれも当たり前のことで、日頃、生徒たちに指導していることなのですが、社会では、本当に大切なことだ

と、身をもって実感しました。その三つのことをないがしろにすれば、お客様からの信頼を一気に失うことになりそうですし、職場の同僚に対しても、その三つのことを心がけることで、よい関係が作れるのではないかと思います。

現在、教員として管理職として学校で働く自分は、生徒たちに対して、あるいは教職員の皆さんに対して、気持ちよく挨拶ができているか、約束や締切りの期限を守っているか、自分自身、そう問いかけています。

また、ホテル勤務の途中に、次のような経験があって、上記「③苦手なことにも誠実に取り組むことの大切さ」を学ぶことができました。

私にホテルの仕事のノウハウを教えてくれた人の一人は、今治南高校に勤務していたときの教え子でした。その教え子は男性でフロント業務に携わっていたのですが、造船関係の仕事で今治にいられている外国の方に、英語でにこやかに対応していて、私は目を見張りました。高校時代、彼はとてもまじめな生徒でしたが、英語が話せる生徒ではなかったし、進学先も経営学の方面だったので、「英語はどうやって話せるようになったのか。」と尋ねたところ、ホテル勤務になってから、自力で学んだのだ、という答えが返ってきました。フロント業務で、外国の方が来られると緊張して逃げ出したいと思っていた自分を反省しましたし、その教え子の意志と行動力は本当にすばらしいものでした。

学校には、教科指導や生徒指導、部活動など、多くの業務があり、苦手な分野の仕事や、これまでに経験したことのない業務に取り組まなければならないこともあると思います。教師だって人間ですから、苦手な人もいます。が、苦手だからといって何もしなければ、その仕事は苦手なままですし、人間関係も好転しません。苦手だけど頑張っている、誠実に一生懸命取り組んでいる、そういう人には、どこからか手が差し伸べられる、学校現場でも、そういう経験をしてきましたし、そうあってほしいと思います。

サブタイトルに、「謙虚に、そして積極的に」と書きましたが、生徒に対しても教職員に対しても、決して偉そうにせず、わからないことや苦手なことは、わかったふりをせず、謙虚に教えていただく、生徒に教えられることも助けられることも多い、そしてそのことに感謝する、苦手なことにも誠実に積極的に取り組んでいる、そのような先生方の姿を見て、生徒たちも同僚の先生方も、きっと何かを感じ取ってくれるのではないかと思います。

自分自身がそのようにできているかどうかはわかりませんが。長期社会人研修を通して気付いたことを心にとめて、今後も、生徒たちや教職員の方々とともに、まじめに誠実に取り組んでいきたいと思っています。昭和最後の採用者ですが、令和の時代に取り残されないよう、これからも頑張ります。